



ROCK PAINT

Technical Data Sheet TDS NO. OR031820-①

ORD/APD

1 / 8

その他周辺剤 Ver.1-3

09/27/23

For Professional Use Only

エコマルチ 反応促進剤

環境配慮型 2液ウレタン樹脂塗料用硬化反応促進剤

商品概要・用途

エコマルチ 反応促進剤は、冬期低温時など塗料の乾燥時間を短縮したい場合に指定の配合可能塗料に対して規定量配合することにより、塗料の反応硬化速度を速めることが可能な環境配慮型の添加剤です。可使時間が短くなるなど使用に際しての制限があるため、注意事項に留意して使用してください。

品目コード(品番・缶種)・品名・容量 / 商品外観

051-0102-69 エコマルチ 反応促進剤

300ml



特長

- ・特定化学物質障害予防規則(特化則)に対応、PRTR届出不要の環境配慮型添加剤です。(2023年9月現在)
- ・塗料の反応硬化時間を速めることが可能なため、冬期低温時や生産性向上を目的とした乾燥時間の短縮に寄与します。
- ・添加量により、硬化時間の調整が可能です。
- ・配合した塗料の可使時間が短くなります。

配合可能塗料



- ・073-5*** ハイロックECO 1CS(1コートソリッドカラー)
- ・073-5150 ハイロックECO クリヤー
- ・073-5160 ハイロックECO グロストップクリヤー
- ・088-**** パナロック 1CS(1コートソリッドカラー)
- ・149-6*** エコロック ハイパークリヤー各種
- ・149-5145 エコロック ユーティリティークリヤーM

注意事項



- ・本書記載の配合可能塗料の主剤にのみ添加し、添加率の上限値を超えない範囲で配合して使用してください。
- ・塗膜性能低下の原因となるため、配合可能塗料以外への使用はできません。
- ・硬化剤には絶対に添加しないでください。硬化剤にエコマルチ反応促進剤を添加して混合すると、自己反応硬化を起こして硬化剤単独で硬化し使用できなくなります。

保管条件 / 貯蔵安定期間



5~40°C

3年間 (未開封時)

保護具/安全衛生



- ・適切な安全保護具を着装してください。
- ・詳細は安全データシート(SDS)を参照ください。

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

使用方法



エコマルチ反応促進剤は主剤に対して添加することにより、塗料の反応硬化時間を早くするための添加剤です。

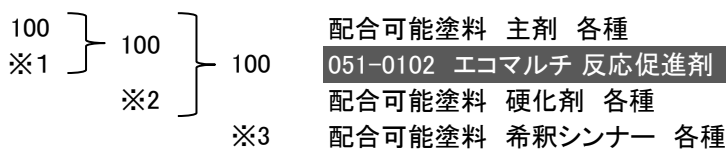
- ・エコマルチ反応促進剤は、塗装する直前に配合可能塗料の主剤100に対し、添加率の上限値を超えない範囲で配合します。その後十分に攪拌してから、主剤専用の硬化剤と希釈シンナーを配合し塗装してください。
- ※エコマルチ反応促進剤の添加率は、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。
- ・配合は重量比です。
- ・本品は配合可能塗料により、添加率上限や使用可能な気温条件が異なります。本書記載の各配合可能塗料の注意事項に留意してください。
- ・メタリック/パールカラーにはエコマルチ反応促進剤を使用しないでください。トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。
- ・ご使用後は注ぎ口のまわりをよく拭き取り、速やかに密栓し冷暗所にて保管してください。
- ・塗料の硬化・蒸発速度の調整は気温に応じた硬化剤・シンナーを選定した上で、本品を併用してください。



配合可能塗料 主剤 100		
073-5***	ハイロックECO 1CS (1コートソリッドカラー)	
073-5150	ハイロックECO クリヤー	
073-5160	ハイロックECO グロストップクリヤー	
088-****	パナロック 1CS (1コートソリッドカラー)	
149-6145	エコロック ハイパークリヤー	H
149-6150		S
149-6245		SW
149-6250		LW
149-5145		エコロック ユーティリティクリヤー M

:

051-0102 エコマルチ反応促進剤 添加率
0~2% ※1
0~3% ※1



※1 上記、051-0102 エコマルチ反応促進剤の添加率を参照ください。

※2 硬化剤の配合率は、各主剤のTDSを参照してください。

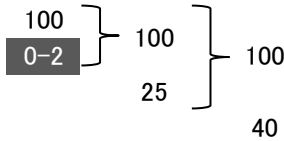
※3 標準希釈率は、各主剤のTDSを参照してください。

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

073L ハイロックECO 1CS [073-5204 ホワイト使用]

【H=時間】



073-5204 ホワイト 主剤

051-0102 エコマルチ 反応促進剤

073-5110 / 5105 ハイロックECO 硬化剤 / 硬化剤(速乾型)

016-F77* エコマルチシンナー 各種

※シンナー種、希釈率は参考にしてください。



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

■ 073-5110 ハイロックECO 硬化剤

《膜厚50μm》

項目	10℃				20℃				30℃	60℃
	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	-	-
051-0102 添加率										
可使時間	7H	4H	3H	2H	5H	3H	2H	1.5H	3H	-
指触乾燥	15分	12分		10分	10分	8分	7分	6分	7分	-
中研ぎ可能										
コンパウンド可能	8H	6H	5H	4H	4H	3H	2.5H	1.5H	2H	20分
テーピング可能	16H	10H	8H	6H	6H	4H	3.5H	2.5H	4H	
屋外放置可能	24H	20H	18H	16H	16H	12H	10H	8H	12H	30分
耐ガソリン性	36H	32H	28H	24H	24H	20H	16H	12H	20H	40分

■ 073-5105 ハイロックECO 硬化剤(速乾型)

《膜厚50μm》

項目	10℃				20℃			
	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%
051-0102 添加率								
可使時間	5H	3H	2H	1.5H	4H	2.5H	1.5H	1H
指触乾燥	10分	9分	9分	8分	5分	5分	4分	4分
中研ぎ可能								
コンパウンド可能	7H	5.5H	4.5H	4H	4H	2.5H	2H	1.5H
テーピング可能	14H	9H	7H	5.5H	5.5H	3.5H	3H	2H
屋外放置可能	22H	19H	17H	16H	16H	10H	9H	8H
耐ガソリン性	34H	30H	26H	24H	24H	16H	14H	10H

注意事項



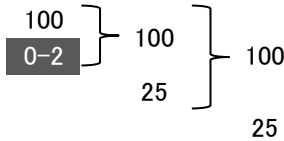
- ・051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加率は、主剤100に対して2%が上限です。添加に際しては、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。規定添加率以上の配合や気温30℃を超える環境下での使用はできません。極端な可使時間の短縮、仕上がり外観の低下やトップコートクリヤーとの層間剥離などを引き起こす原因となります。
- ・メタリック/パールカラーベースにはエコマルチ 反応促進剤を使用しないでください。トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

073L ハイロックECO [073-5150 クリヤー]

【h=時間】



073-5150 クリヤー 主剤

051-0102 エコマルチ 反応促進剤

073-5110 / 5105 ハイロックECO 硬化剤 / 硬化剤(速乾型)

016-F77* エコマルチシンナー 各種

※シンナー種、希釈率は参考にしてください。



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

■ 073-5110 ハイロックECO 硬化剤

《膜厚40μm》

項目	10℃				20℃				30℃	60℃
	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	-	-
051-0102 添加率										
可使時間	8H	5H	4H	3H	6H	4H	3H	2H	4H	-
指触乾燥	20分	18分	15分		12分	10分	8分		10分	
中研ぎ可能										
コンパウンド可能	20H	10H	6H	4H	10H	6H	3H	2H	4H	25分
テーピング可能	24H	12H	8H	7H	12H	8H	4H	3H	5H	30分
屋外放置可能	24H	20H	18H	16H	16H	12H	10H	8H	12H	40分
耐ガソリン性	36H	32H	28H	24H	24H	20H	16H	12H	20H	60分

■ 073-5105 ハイロックECO 硬化剤(速乾型)

《膜厚40μm》

項目	10℃				20℃			
	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%
051-0102 添加率								
可使時間	6H	3.5H	2.5H	2H	5H	3H	2H	1.5H
指触乾燥	12分	12分	10分	10分	7分	7分	6分	6分
中研ぎ可能								
コンパウンド可能	18H	8H	5H	4H	8H	4H	2.5H	1.5H
テーピング可能	22H	10H	7.5H	6.5H	10H	6H	3.5H	2.5H
屋外放置可能	22H	19H	17H	16H	16H	10H	9H	8H
耐ガソリン性	34H	30H	26H	24H	24H	16H	14H	10H

注意事項



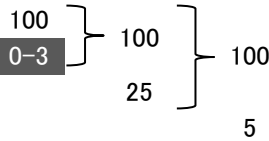
- ・051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加率は、主剤100に対して2%が上限です。添加に際しては、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。規定添加率以上の配合や気温30℃を超える環境下での使用はできません。極端な可使時間の短縮、仕上がりが外観の低下やトップコートクリヤーとの層間剥離などを引き起こす原因となります。
- ・メタリック/パールカラーベースにはエコマルチ 反応促進剤を使用しないでください。トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

073L ハイロックECO [073-5160 グロストップクリヤー]

【h=時間】



073-5160 グロストップクリヤー 主剤

051-0102 エコマルチ 反応促進剤

073-5110 / 5105 ハイロックECO 硬化剤 / 硬化剤(速乾型)

016-F77* エコマルチシンナー 各種

※シンナー種、希釈率は参考にしてください。



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

■ 073-5110 ハイロックECO 硬化剤

《膜厚40μm》

項目	10℃					20℃					30℃	60℃
	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%	-	-
051-0102 添加率												
可使時間	8H	7.5H	7H	6H	5H	6H	5.5H	5H	4H	3H	4H	-
指触乾燥	16分		14分			10分		9分		8分	8分	-
中研ぎ可能	16分		14分			10分		9分		8分	8分	-
コンパウンド可能	20H	18H	16H	14H	12H	7H	6.5H	6H	5H	4H	3H	20分
テーピング可能	24H	22H	20H	17H	15H	9H	8.5H	8H	7H	6H	4.5H	30分
屋外放置可能	28H	26H	24H	22H	20H	12H	11H	10H	9H	8H	8H	35分
耐ガソリン性	36H	34H	32H	28H	24H	15H	14H	13H	12H	11H	10H	45分

■ 073-5105 ハイロックECO 硬化剤(速乾型)

《膜厚40μm》

項目	10℃					20℃				
	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%	3.0%
051-0102 添加率										
可使時間	6H	5.5H	5H	4H	3H	4.5H	4H	3.5H	3H	2.5H
指触乾燥	10分		8分			6分		5分		
中研ぎ可能	10分		8分			6分		5分		
コンパウンド可能	18H	16H	14H	12H	10H	5H	4.5H	4H	3H	2H
テーピング可能	22H	20H	18H	16H	14H	7H	6.5H	6H	5H	4H
屋外放置可能	25H	23H	21H	19H	17H	10H	9H	8H	7H	6H
耐ガソリン性	34H	32H	30H	27H	24H	14H	13H	12H	11H	10H

注意事項



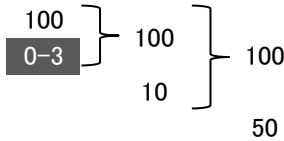
- ・051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加率は、主剤100に対して3%が上限です。添加に際しては、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。規定添加率以上の配合や気温30℃を超える環境下での使用はできません。極端な可使時間の短縮、仕上がり外観の低下やトップコートクリヤーとの層間剥離などを引き起こす原因となります。
- ・メタリック/パールカラーベースにはエコマルチ 反応促進剤を使用しないでください。トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

088L パナロック 1CS [088-0204 パナロック ホワイト使用]

【H=時間】



088-0204 パナロック ホワイト 主剤

051-0102 エコマルチ 反応促進剤

088-0110 パナロック 硬化剤

016-F77* エコマルチシンナー 各種

※シンナー種、希釈率は参考にしてください。



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

《 膜厚60 μm 》

項目	10℃				20℃				25℃			
	0%	1%	2%	3%	0%	1%	2%	3%	0%	1%	2%	3%
051-0102 添加率												
可使時間	8H	6H	4H	3H	5H	3H	2H	1.5H	3H	2H	1.5H	1H
指触乾燥	8分	6分	5.5分	5分	4分	4分	3.5分	3分	3分	3分	2.5分	2分
中研ぎ可能	40分	25分	20分	15分	20分	16分	12分	8分	15分	10分	8分	6分
コンパウンド可能	6H	4H	3H	2H	3H	2.5H	2H	1.5H	2H	1.5H	1.5H	1H
テーピング可能	20H	14H	10H	7H	12H	8H	6H	5H	6H	5H	4H	3H

参考 / 使用硬化剤別 硬化時間比較(反応促進剤添加なし)

■硬化剤 088-0110 パナロック硬化剤 / 088-0140 パナロック硬化剤 速乾型

《 膜厚60 μm 》

項目	10℃		20℃		25℃	
	088-0110 パナロック 硬化剤	088-0140 パナロック 硬化剤 速乾型	088-0110 パナロック 硬化剤	088-0140 パナロック 硬化剤 速乾型	088-0110 パナロック 硬化剤	088-0140 パナロック 硬化剤 速乾型
可使時間	8H		5H		3H	
指触乾燥	8分	7分	4分		3分	
中研ぎ可能	40分	30分	20分	18分	15分	12分
コンパウンド可能	6H		3H		2H	
テーピング可能	20H	16H	12H	10H	6H	5H

注意事項



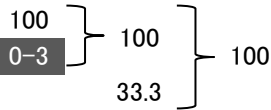
- ・パナロックに使用する場合、051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加率は、主剤100に対して3%が上限です。
 添加に際しては、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。
 規定添加率以上の配合や気温25℃を超える環境下での使用はできません。
 規定の添加率を超える添加は、極端な可使時間の短縮、仕上がり外観の低下やトップコートクリヤーとの層間剥離などを引き起こす原因となります。
- ・メタリック/パールカラーベースにはエコマルチ 反応促進剤を使用しないでください。
 トップコートクリヤーと層間剥離する恐れがあります。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。
 必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

149L エコロック ハイパークリヤー 各種 [149-6*** H、S、SW、LW]

【H=時間】



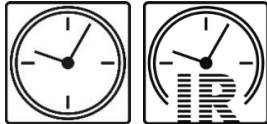
149-6*** エコロック ハイパークリヤー主剤 各種

051-0102 エコマルチ 反応促進剤

149-61** エコロック ハードナー 各種

016-F77* エコマルチシンナー 各種

※シンナー希釈率は参考にしてください。



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

■ 149-6150 エコロック ハイパークリヤー S

《 膜厚50 μ m 》

項目	10℃				20℃				25℃				60℃	
	0%	1%	2%	3%	0%	1%	2%	3%	0%	1%	2%	3%	0%	3%
051-0102 添加率														
可使時間	180分	160分	140分	120分	120分	100分	80分	60分	-				-	
コンパウンド可能時間	15H	13H	12H	11H	6H	5H	4H	3H	5.5H	4.5H	3.5H	2.5H	15分	12分
テーピング可能時間	31H	26H	23H	20H	13H	11H	10H	9H	12H	10H	9H	8H	25分	22分

■ 149-6145 / 6245 / 6250 エコロック ハイパークリヤー H / SW / LW

《 膜厚50 μ m 》

項目	10℃				20℃				25℃				60℃	
	0%	1%	2%	3%	0%	1%	2%	3%	0%	1%	2%	3%	0%	3%
051-0102 添加率														
可使時間	180分	160分	140分	120分	120分	100分	80分	60分	-				-	
コンパウンド可能時間	11H	9H	8H	7H	3H	2.5H	2H	1.5H	2.5H	2H	1.5H	1.3H	10分	7分
テーピング可能時間	27H	22H	19H	16H	11H	9H	8H	7H	10H	8H	7H	6H	20分	17分

注意事項



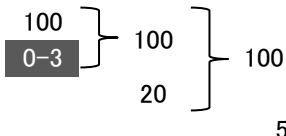
- ・051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加率は、主剤100に対して3%が上限です。添加に際しては、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。規定添加率以上の配合や気温25℃を超える環境下での使用はできません。極端な可使時間の短縮や仕上り外観品質(肌)低下の原因となります。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

エコマルチ 反応促進剤

For Professional Use Only

149L エコロック ユーティリティクリヤー M

【H=時間】



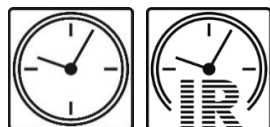
149-5145 エコロック ユーティリティークリヤー M 主剤

051-0102 エコマルチ 反応促進剤

149-61** エコロック ハードナー 各種

016-F77* エコマルチシンナー 各種

※シンナー希釈率は参考にしてください。



・塗装条件(膜厚、希釈率等)により各乾燥時間は変動しますので下表は参考としてください。

《膜厚50μm》

項目	10℃				20℃				25℃				60℃	
	0%	1%	2%	3%	0%	1%	2%	3%	0%	1%	2%	3%	0%	3%
051-0102 添加率														
可使時間	300分	260分	220分	180分	240分	200分	160分	120分	-				-	
コンパウンド可能時間	12H	10H	9H	8H	4H	3H	2.5H	2H	3.5H	2.5H	2H	1.5H	15分	12分
テーピング可能時間	28H	23H	20H	17H	12H	10H	9H	8H	11H	9H	8H	7H	25分	22分

注意事項



- ・051-0102 エコマルチ 反応促進剤の添加率は、主剤100に対して3%が上限です。添加に際しては、上限値まで段階的に増やして調整することをお奨めします。規定添加率以上の配合や気温25℃を超える環境下での使用はできません。極端な可使時間の短縮や仕上り外観品質(肌)低下の原因となります。
- ・主剤にあらかじめ配合しておくことはできません。塗料保存性の低下や変色の原因となります。必ず塗装する直前に主剤に添加してください。

■Copyright © 2023 ROCK PAINT CO.,LTD. All Rights Reserved.

本データシートの内容については予告なく変更する場合があります。また著作権などの法律で保護されており、無断で転載、複製することを固く禁止します。本データシートは参考資料としての位置付けにて、特定の品質や使用に関する適正または塗装の結果を保証するものではありません。実際の塗装等作業には、環境面をはじめ種々のファクターが介在致します。事前に試験塗装を行い確認を実施いただきますようお願い致します。本データシートを使用して生じたいかなる塗装結果及び損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。